

最高速 チューニングカー

MC 82年2月号

走る場所がない、
240km/hオーバーの猛者

一番

●チューニングカー最高速

1位	雨宮RX-7・13Bターボ	254.42km/h
2位	チャレンジZ 3ℓ	251.75km/h
3位	ソアラHKS・ターボAT	245.73km/h
4位	HKSレビン	243.24km/h
5位	久保・フェアレディZ	240.80km/h

3位

HKS・ソアラ
2800GTターボ
(AT)
245.73km/h



AT仕様ながら240km/hオーバーの最高速を出すソアラ。

オートマ部門で先陣を切るターボ5M-GEU



←5M-GEUにHKSターボを組み込んだソアラ。



←メーターパネルの下にブースト圧を調整するツマミをもつソアラターボ。



↑車高もグンと低くしたチャレンジZ。→3ℓL型エンジンのチューニングカーとしては最高速を誇ったチャレンジZ。

リアのダンパーはビルシュタインを装着したハードサスである。ロータリーとターボのセッティングにかなり苦労したようで、この13Bターボも現状では開発途上の感もある。しかし、ターボにより中速トルクがかなり向上しており、ドライバビリティでは13Bベリ仕様を上回るほどである。

チャレンジZ・3ℓ

オーバーエンターやリアスポイラーといったオーソドックスな改造より、全高で80mmも低くしたルーフのカットが最大の特徴である。フロントガラスもその分狭くなっており、前面投影面積はかなり縮小している。この改造は最高速のチャレンジZには大きく効果を発揮するはずで、エンジンパワーだけでなく空力を考えた点で注目されることゝなる。

エンジンはL型だが、排気量は3007ccにアップされ、最高出力は2500PSを発揮するという。ファイナルは3.5453:1・700が用意されたが、本誌テスト

チャレンジZ3
251.75km/h
DOHC、ターボ

トではハイギアを使用した。テスト結果はゼロヨン13.50秒、最高速が251.75km/hであった。ちなみに3.700を使用した結果は、約1km/hほど最高速が高かったという。

最高速時は5速で6400rpmまで回っているが、3.5453のギア比では6000rpmまで回り、この車に関してはハイギアード化は裏目の結果となったわけだ。

ソアラ2800GT・HKSターボ

5M-GEUにHKS製のターボをトッキングさせたのが、この車である。

ノーマルエンジンでも1700PSと国産最高のパワーを誇るソアラだけに強力なターボが追加されると、最高出力で2500PSまで一挙にパワーアップされる。

ブースト圧は0.8〜1気圧まで上がり、ATミッションのハンディさえも感じさせないすばらしい加速力を示す。

4000rpmからターボの底力が発揮されて、パワーの盛り上がりも劇的に上昇してゆく。

テストアーターはゼロヨンが13秒78、最高速が245.73km/hと本誌テストカーの中では3番目に良い結果が出た。

もし、マニュアルミッションを採用していればゼロヨンで12秒台は確実であろうし、最高速もさらに飛躍するはずだ。さすがに2.8eDOHCの底力ともいえるべきスーパーAT車であった。